



2009年12月27日
号外

民主党プレス民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活が第一

小沢幹事長 盛岡で会見

参院選 61議席獲得を目指す

小沢一郎幹事長は20日、盛岡市内で記者会見し、来年夏の参院選挙に向け、121ある改選議席の過半数61議席の獲得を目指し、全力で臨む決意を表明しました。



小沢幹事長ははじめに、参院選挙に民主党としてどう臨むかを問われ、「岩手県内については旧来から県民の皆さんから広く厚い支持をいただいております、ぜひ来年夏も圧倒的なご支持、ご支援を賜りたいと考えている。全国レベルとしては、改選議席の過半数、61議席の当選を目指して全力を挙げたい」と語りました。

次に、岩手県において民主党が市町村議長選挙の相乗り禁止を打ち出したことへの見解および全国的に相乗り禁止とする考えかとの質問については、「本来、議会制民主主義イコール政党政治であり、各級の選挙において政党を名乗るのが欧米の先進民主主義国では当たり前のこと」として、将来日本でもそうした考え方が国内、国民の皆さんの間に定着することによって、結果として相乗り禁止になっていくだろうと分析しました。

そのうえで、「まず都道府県、政令指定都市といった大きな行政単位のところで徹底させることによって、議会制民主主義、政党政治の基本を、党员も国民も理解してもらいたいと思っている。また、そのような選挙が民主党の党勢の拡大、基盤強化に繋がると考えているので、現時点では可能な限り同じ志を持つ候補者が地方行政を担当することになれば結構なことだと思っている」と述べました。

事業仕分け人 早稲田大学で経験を授業

日本の政治が変わる

仙谷由人内閣府特命担当(行政刷新)大臣と事業仕分け人6議員(枝野幸男、



寺田学、田嶋要、津川祥吾各衆院議員、尾立源幸、蓮舫両参院議員)は21日、早稲田大学「大隈塾」にて「事業仕分けの意義」をテーマに授業を行いました。

行政刷新会議・事業仕分け統括役の枝野議員は、「皆さんが納めている税金がどう使われているのかということをごちゃんと皆さんが知りうるようする」ことが事業仕分けのポイントであり、「国民納税者の視点から税金の使い方について聞きたいことを公開の場で問いただし、その答えを(国民の)皆さんに知っていただくことが事業仕分けの意義であると述べました。

その上で、「議論をちゃんと整理してやる」とことと「(事業の)目的と手段を区別して議論する」ということがこれまで全くできていなかったことが事業仕分けをした後の大きな発見であったと紹介しました。

仙谷行政刷新担当相からは、「事業仕分けをやり、1日目、2日目の反応を見て、日本の政治が大きく変わるだろうという直感がした」と述べ、また、参加した200人近くの学生に対し、「若い皆さん方が(事業仕分けや政治に)関心をもっていただき、参加する人がどんどん出てくるというのが、最大の課題であるので、引き続き関心をもってどんどん参加をしていただきたい」とエールを送りました。